



JASDAQ

平成 21 年 5 月 13 日

各 位

香川県高松市扇町二丁目 7 番 20 号
セーラー広告株式会社
代表取締役社長 植村 貴好
(コード番号：2156)

問い合わせ先 取締役総務本部長 山内 務
TEL 087-825-1156

平成 21 年 3 月期個別業績と前年実績との差異に関するお知らせ

平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の当社単体の業績について、前年実績（平成 20 年 3 月期）と比較して差異が生じたのでお知らせします。

記

1. 前年実績値との差異

○ 個 別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
平成 20 年 3 月期 実績 (A)	9, 6 3 6	1 9 3	1 9 9	8 9	1 5 . 2 1
平成 21 年 3 月期 実績 (B)	9, 1 4 2	1 2 5	1 5 2	7 7	1 2 . 7 6
増減額 (B - A)	△ 4 9 3	△ 6 7	△ 4 6	△ 1 2	—
増減率 (%)	△ 5 . 1	△ 3 5 . 0	△ 2 3 . 2	△ 1 3 . 5	—

2. 差異の理由

当事業年度におけるわが国の経済は、原油や原材料価格の高騰にはじまり、その後の世界的な金融危機が国内株式市場の混乱や円高の進行を招き、輸出企業の生産縮小や雇用情勢の悪化等を引き起こした結果、景気は急速に後退しました。

当社商勢圏におきましても、国内経済の景気減速によって多くの企業が影響を受け、個人消費につきましても景気先行き不透明感から節約志向が高まり購買意欲が一段と冷え込む状況となりました。

こうしたなか、当社におきましては、地域の皆様の社会生活と文化の発展に貢献することを目的として、広告主の販売促進活動の企画提案、新規広告主の獲得を目的とした東京・福岡への社員駐在、子会社と連動したクロスメディア企画の提案などを図り、これまで以上にサービスの拡大と質の向上に取り組みました。

こうした取り組みの結果、平成 21 年 3 月期第 1 四半期から同第 3 四半期において、「地域 I C T 未来

フェスタ 2008」企画・運営・実施業務をはじめ、流通小売業の年末年始商戦に伴う各種広告・販売促進企画、娯楽業の店舗改装等に伴う告知広告など主要広告主からの安定した広告出稿があり、併せて大規模小売店の新規出店関連広告や企業名変更に伴う看板等を受注しました。

しかしながら、当第4四半期において、世界的な金融危機による国内経済の急激な悪化等から主要広告主を中心に広告費削減傾向がますます顕著となり、当初計画していた広告出稿案件を延期・中止する広告主が増えました。その結果、平成21年3月期の当社売上高は9,142百万円（前年実績比94.9%）となりました。

当社におきましては、個々の受注案件における粗利益率を見直すとともに諸費用の削減に努めましたが、売上高構成比の高いテレビ・新聞広告の減少と大型イベントの低粗利益率等が影響し売上総利益が減少、取引先の企業業績悪化による貸倒損失および引当案件の増加等もあり、営業利益は125百万円（前年実績比65.0%）、経常利益は152百万円（前年実績比76.8%）となりました。また、株価下落等による投資有価証券評価損12百万円の計上等から当期純利益は77百万円（前年実績比86.5%）となりました。

なお、通期の連結業績につきましては、本日別途開示しております平成21年3月期決算短信をご参照ください。

以 上